

Exercise, Neurotransmission & Neurogenesis



2020年東京オリンピック・パラリンピックなど主要な競技会が、暑熱環境や過密日程などの過酷な環境下で開催されることから、ヒトおよび動物実験から運動能力を制限する末梢及び中枢性の因子を解明し、それらを予防するための暑さ対策やリハビリ戦略を提案することは非常に重要である。今回の講演会では、運動時の脳機能や中枢性疲労機構、オートファゴソームに関する基礎的及び実践的研究を強力に進めてきたRomain Meeusen 教授を招き、運動と脳の関係話を話して頂く。

日 時：2017年7月25日（火） 16：20～17：50

会 場：広島大学総合科学部 K305教室

講演者：ベルギー・ブリュッセル自由大学教授 Romain Meeusen

英国、アメリカ、イタリア、ブラジル、日本のなどの著名研究者との国際的共同研究によって、その知識や研究成果を、約380 編の査読付論文や18 冊の教科書、730 回に及び国内及び国際学会で講演する世界的研究者である。Meeusen 教授はベルギー体育学会の会長、スポーツリハビリテーション学会の前会長も務めている。また、世界のスポーツ科学を主導しているヨーロッパスポーツ学会及びアメリカスポーツ医学会の理事や若手研究者の交流事業の代表を務めるなど、まさに運動生理学分野のリーダー的存在である。



言語：英語（通訳なし）
参加費無料

対象：教職員、学生、大学院生、一般
事前参加予約不要

問い合わせ先：広島大学大学院総合科学研究科 教授 長谷川 博

TEL: 082-424-6592 E-mail: hasehiro@hiroshima-u.ac.jp

本セミナーは、平成 29 年度日本学術振興会外国人招へい研究者事業（代表者：長谷川博）による補助を受けています。